

記事内容

- ☆平和行動in沖縄
- ☆平和行動in沖縄
- ☆平和行動in沖縄
- ☆ジェンダー平等・多様性推進「トップセミナー」/男女平等参画社会の実現に向けた要請
- ☆第7回(最終)回答集計結果
- ☆オルガナイザー研修会(実践)/女性のためのSTEPUPセミナー(初級)
- ☆こくみん共済coop/8月の行動予定表☆
- ☆あけぼのビル

～ 戦させんしまち みるくせややがて 嘆くなよ臣下 命どう宝 ～

2024平和行動 in 沖縄

6月23日(日)～6月25日(火)に平和4行動のスタートである「平和行動in沖縄」が那覇文化芸術劇場なはーと大劇場で開催されました。連合埼玉からは構成組織、地域協議会、女性委員会、青年委員会より13名が参加しました。

6月23日の「連合2024平和オキナワ集会」では、「再考・日米地位協定」と題し、沖縄国際大学経済学部教授の前泊 博盛氏より講演をいただきました。講演では、異次元の軍拡が閣議決定され、2023年度だけでも前年比3倍増となり、弾薬の発注・製造・貯蔵を進めており、とりわけ沖縄に集中していることや日米地位協定に

ついては、米軍による事件事故対応として、現場立ち入りの拒否、飛行経路変更で小学校上空を飛行ルートにしたことで、校庭にシェルターを作り避難をしていることなど多く問題点が説明されました。

6月24日のピース・フィールドワークでは、沖縄陸軍病院南風原壕、ひめゆりの塔・資料館、旧海軍司令部壕などの戦跡を自らの目や肌で感じることで、79年前の戦争の惨劇とを深く心に刻みました。

参加者全員でこの平和行動で目の当たりにした戦争の本質、そして実感した平和の大切さを広く伝えていきます。

1日目
(6/23)

■連合2024平和オキナワ集会

- と き 15:00～17:00
場 所 那覇文化芸術劇場なはーと大劇場
内 容 第1部
日米地位協定について
講師:前泊 博盛氏
(沖縄国際大学経済学部地域環境政策学科)
第2部 平和式典

2日目
(6/24)

■ピース・フィールドワーク(連合群馬と合同行動)

- 内 容 南風原文化センター・沖縄陸軍病院南風原壕
→平和祈念公園 → ひめゆりの塔・資料館 →
旧海軍司令部壕

海老原理紗 (UAゼンセン埼玉県支部)
渡部 郁子 (UAゼンセン/ココカラファインユニオン)
勅使河原岳 (UAゼンセン/ココカラファインユニオン)
高橋 和則 (自動車総連/ソーシン労働組合)
加藤 弘樹 (JAM埼玉/新電元工業労働組合)
二野宮裕子 (JAM埼玉/日本ピストンリング労働組合)
竹本 政代 (さいたま地域協議会/JP労組大宮支部)
石井 英子 (川口・戸田・蕨地域協議会/埼玉県競走労働組合)
斉藤 輝光 (東部地域協議会/久喜市職員労働組合)
福満 滋紀 (東部地域協議会/東光高岳労働組合)
春田 菊枝 (女性委員会/ヤマト運輸労働組合東松山支部)
室伏 真二 (青年委員会/ヤマト運輸労働組合埼玉支部)
迫 幸太郎 (連合埼玉副事務局長)



①平和行動に参加したのは何回目ですか？ ②感想

①初めて

②平和行動に参加するまでは、正直を言えば、毎年「沖縄慰霊の日」のニュースを見ても、沖縄の歴史や現在沖縄が置かれている状況は遠くの地方の一部の問題のように感じていました。しかし、今回初めて「平和オキナワ集会」に参加し、日米地位協定に関して何が起きているのか、何が問題なのか、沖縄の問題は自分ごととして日本中が考えなければならないということがやっと理解できました。また、むせかえるような暑さの中で戦跡各地を巡り、自分の五感で沖縄戦の悲惨さや二度と戦争を繰り返してはいけないという現地の方々の思いを強く感じることができました。



海老原理沙

①初めて

②毎年、この季節になるとTVニュース等で流れてくる平和記念公園での式典の映像を何気なく目にしていました。広島・長崎の平和公園・資料館へは足を運んでいましたが、沖縄の戦争史跡へ足を運ぶのは初めての経験でした。陸軍病院南風原壕、ひめゆりの塔(病院壕)、旧海軍司令部壕と大変過酷な環境下での活動だったことを身に染みて感じました。また、この限られた島の中で、あまりにも多くの島民(民間人:約20万人)が亡くなっていることに沖縄戦の凄まじさを見せつけられました。『この沖縄戦の時間があって、今、この現在の時間がある』ことを痛感しました。改めて『平和の尊さ』を単組メンバーにも伝えていきたいと思えます。



勅使河原岳



平和オキナワ集会

①初めて

②戦争により市民が巻き込まれ犠牲となり、本来過ごせたはずの人生を謳歌することなく終えていく。各所を巡る中で当時の悲惨さが否応なく伝わった。爆死や病死、自決等、ひめゆりの塔では子供達が笑顔の写真とともにどのような最期を迎えたか詳細に記載されており、それを読むだけで辛く悲しく痛ましい。戦争を学ぶことは平和を繋ぐことであり、誰もが心身ともに健やかに生きていける時代を、今を生きる我々は維持しなければならぬ。そう思わせる貴重な体験だった。国と国が武力で争うことはどのようなことなのか、79年前の状況を平和行動で学び、犠牲となられた全ての方々に対し哀悼の意を表す。



加藤弘樹

①初めて

②全国から参加された連合の多くの仲間との恒久平和に対する熱い願いが感じられる集会でした。更に、フィールドワークは戦争の悲惨さを想像し、その当時にタイムスリップした様な感覚になり、心が辛く締め付けられるようでした。「人ごと」ではなく、この経験をどう活かしているのか？私が微力でもできることは、今まで続けてきている子ども達への読み聞かせです。子ども達一人ひとりの心に絵本を通して「人ごと」であっても「自分ごと」と考えられる種をまき、自分の命も人の命も同じく愛しく、大切と思えるそんな子ども達に育ててほしいと願いながら続けることです。これから子ども達との時間を頂き、私の命の時間を大切に使うと改めて思わせて頂きました。



渡部郁子

①初めて

②陸軍病院南風原壕では実際に壕の中に入りガイドさんから当時壕の中で行われていたことの説明を受けているとその時の様子が頭の中に浮かんできた。女生徒たちが黄金森の険しい道を米の入った桶を担ぎ幾度も運んでいた事を聞かされ心が詰まる想いを感じた。ひめゆりの塔では以前、映画で見たことを思い出した。今でいえば「何で私がこんな事をしなくちゃならないの」と感じていた生徒もいたのかしれないが戦争が終わり、良くなっていくことを信じ生徒たちは誠心誠意努めたのだろうと思った。今回、平和行動に参加して戦争からは得るものは無く、何も生まない、残るのは憎しみと悲しみだけと感じた。同じことが繰り返されないことを願うと共に今も行われている戦争が一日も早く終結し平和な世界になることを切に願う。



高橋和則



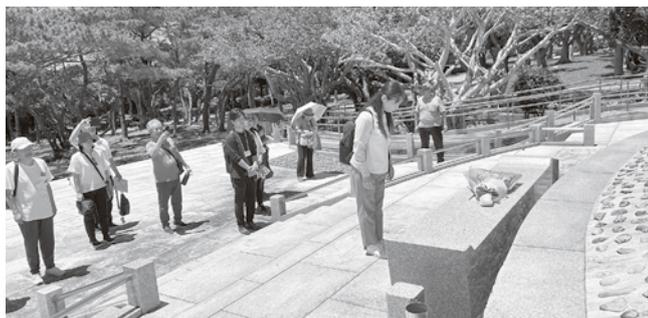
平和の礎

①初めて

②今まで、戦争というものに対してできるだけ直視しないようにしていました。それは、聞いても悲しい辛いという感情が起ころうしようもない思いに襲われ、感情を整理することも、消化することもできず、ただ怖いという感情からでした。しかし今回、平和オキナワ集会の参加、陸軍病院南風原壕、ひめゆりの塔、旧海軍司令部壕での見学、平和祈念公園への献花といった、個人で沖縄の地を訪れてもできない貴重な体験をさせていただき、見学や資料を通して、たくさんの事実と苦難と困難、そして昔の人の強さを知ることができました。見て学んだ背景を踏まえて、知るということから、平和の大切さを実感し、将来の社会をより良いものにする鍵であると強く感じました。学びの機会と犠牲者の方に手を合わせ献花できたことを感謝いたします。



二野宮裕子



埼玉の塔に献花

①初めて

②那覇空港を出たら凄い湿気と暑さに驚きました。二日目のピースフィールドワークの南風原の陸軍病院跡地や、旧海軍司令部壕など、人力で作ったものとは思えないし、この中で今できること、生きることだけを考えて、戦争の犠牲になった人々ことを思うと言葉になりません。貴重な経験をさせていただいて有難うございました。



石井英子



折り鶴献納

①初めて

②私が今回最も衝撃を受けたのは「ひめゆりの塔」で、沖縄戦で日本軍の負傷兵の手当をする為に教師と女子生徒が沖縄陸軍病院へ行ったが米軍が迫り撤退を余儀なくされ、攻撃を受け亡くなった生徒、教師と共に自死する生徒たちもいたらしく、亡くなった教師や生徒の写真が資料館に展示されていました。罪のない人々がこんな最期を送らなくてはならないことに凄く心が締め付けられる思いになりました。未だに各国で紛争が起きていてたくさんの市民や兵士が亡くなっています。日本の平和の為に二度と起こしてはならないし「生きてて幸せだった」という最期を送りたいと感じました。



福満滋紀



沖縄陸軍病院南風原壕

①2回目

②平和行動に参加し戦争の恐ろしさを改めて考えさせられました。何故？誰のために？何の罪もない一般の住人の方を巻き込まなければいけなかったのか？将来のある子供達に辛く怖い思いをさせなければならなかったのか？と問いかけてながら参加させていただきました。戦後79年が経ち戦争体験者が減っていく中、平和な時代に生まれ育ってきた私達は今回の平和行動で学んだ事を1人でも多くの人に伝える努めがあると強く感じました。今ある「幸せ」は当然の事ではない、平和の大切さやありがたさをかみしめながら今回の学びを今後の自分の行動にいかしていきたいと思います。



春田菊枝



ひめゆりの塔

①3回目

②沖縄陸軍病院南風原壕・平和祈念公園・ひめゆりの塔・旧海軍司令部壕、等々を良く見入ることができ素晴らしい体験と再発見を得ることができました。沖縄陸軍病院南風原壕が南風原国民学校を接収した際、校長室は将校の部屋になるのは軍隊なので理解できますが、死体置き場が便所裏という事に腹が立ちました。さらに戦友の亡骸を便所裏に野積みとは軍は人を道具としか見ない狂気の沙汰だったのでしょう。しかし誰も日本の勝利を信じて疑わなかったと聞きました。他にも当時の壕の中の臭い体験など、資料を見ただけでは得られない大変貴重な学びを得られました。



斉藤輝光



参加者のみなさん

①初めて

②今年で戦後79年が経ちました。1945年3月26日沖縄にアメリカ軍が上陸し、ここから沖縄戦争が始まりました。日本では民間人を巻き込んだ地上戦となり多くの尊い命が奪われました。あの戦争に何の意味があったのでしょうか？もう二度と同じ過ちを侵さない為にも私たちが戦争の恐ろしさ、平和であることの大切さを後世に伝えていかなければなりません。平和の大切さを伝えていく為にも戦争という事実を受けとめ、学び、平和な心を持つことが大切だと思います。世界の人々が一つになり本当の平和と呼べる日が1日でも早く来ること、戦争があった事実を伝えていきたいです。



室伏真二

ジェンダー平等・多様性推進「トップセミナー」を開催!



鈴木副会長あいさつ



坂本先生

6月19日(水)あけぼのビルにて、2024年度「男女平等月間」の取り組みとして、ジェンダー平等・多様性推進「トップセミナー」を開催し、構成組織から28名、事務局3名の総勢31名が参加しました。

今回のセミナーでは、社会保険労務士法人代表特定社会保険労務士／中小企業診断士から坂本直紀氏をお招きし、「男性の育児休業取得の推進に向けた取り組み」～女性が出産後も働き続けやすい職場環境実現に向けて～というテーマに、男性の育児休業取得の現状や育休や産後パパ育休制度のハラスメント防止、育児に関わる法改正などのご講演をいただきました。

グループワークでは、仕事と育児の両立のためには、

良好な職場環境が必要と題し、今の職場の現状と問題点(個人ワーク)、職場の問題点をどうしたら改善できるか?(グループワーク)の意見交換をおこないました。

参加者からの声として、「法改正の内容が初耳なところもあり、組織に持ち帰って、労使確認や参考に活用したい」、「グループワークでは、多くの企業の皆さんと意見交換する機会をいただき、有意義な時間でした」などの声をいただきました。ご参加していただいた皆さんありがとうございました。

今後も皆さんの組合活動に活かせるセミナーを開催していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



講義の様子



グループワーク

埼玉労働局に対して 「男女平等参画社会」実現をめざした要請を実施!

連合埼玉は、男女が均等な機会と待遇で、仕事と生活の役割と責任を分かち合いながら働き続けることのできる「男女平等参画社会」実現をめざして取り組んでいます。

そのような中、6月28日(金)に埼玉労働局に対して、「男女平等参画社会」実現をめざした全6項目の要請をおこないました。当日は、ジェンダー平等・多様性推進委員会 鈴木委員長(連合埼玉副会長)から、埼玉労働局へ要請書を手渡し、その後、意見交換をおこないました。

主な要請項目は、以下のとおりとなります。

- ・「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」を支援すること。
- ・「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」の取り組みをおこなうこと。

- ・同性パートナーの人権を尊重し、事実婚と同程度の権利を保障するため、埼玉県において同性パートナーシップ制度について検討し、導入すること。

今後も連合埼玉は「男女平等参画社会」実現をめざした活動を推進していきます。



要請書を手渡す鈴木委員長

連合:2024春季生活闘争 第7回回答集計結果【抜粋】(7月1日現在)

連合は7月3日(水)、2024春季生活闘争 第7回回答集計結果を公表しました。

【概要】

- 月例賃金改善(定昇維持含む)を要求した5,459組合中5,450組合が妥結済み(99.8%)。うち賃金改善分獲得が明らかな組合は3,130組合・57.4%で、比較可能な2013闘争以降では組合数・割合とも最も高い。
- 平均賃金方式で回答を引き出した5,284組合の「定昇相当込み賃上げ計」は加重平均で15,281円・5.10%(昨年同時期比4,721円増・1.52ポイント増)、うち300人未満の中小組合3,816組合は11,358円・4.45%(同3,337円増・1.22ポイント増)となった。最終集計まで5%超えを維持したのは33年ぶりである。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で、時給62.70円(同9.92円増)・月給10,869円(同4,041円増)である。引上げ率は概算でそれぞれ5.74%・4.98%となり、時給は一般組合員(平均賃金方式)を上回っている。

1. 賃上げ <第7回回答集計結果(7月3日公表)>

平均賃金方式(集計組合員数による加重平均)

平均賃金方式	2024回答(2024年7月3日公表)			昨年対比	2023回答(2023年7月5日公表)		
	集計組合数	定昇相当込み賃上げ計			集計組合数	定昇相当込み賃上げ計	
	集計組合員数	額	率		集計組合員数	額	率
	5,284 組合 2,933,902 人	15,281 円	5.10 %	4,721 円 1.52 ポイント	5,272 組合 2,877,053 人	10,560 円	3.58 %
300人未満 計	3,816 組合 359,093 人	11,358 円	4.45 %	3,337 円 1.22 ポイント	3,823 組合 362,688 人	8,021 円	3.23 %
~99人	2,333 組合 97,385 人	9,626 円	3.98 %	2,759 円 1.04 ポイント	2,313 組合 96,456 人	6,867 円	2.94 %
100~299人	1,483 組合 261,708 人	12,004 円	4.62 %	3,553 円 1.30 ポイント	1,510 組合 266,232 人	8,451 円	3.32 %
300人以上 計	1,468 組合 2,574,809 人	15,874 円	5.19 %	4,917 円 1.55 ポイント	1,449 組合 2,514,365 人	10,957 円	3.64 %
300~999人	979 組合 528,881 人	14,032 円	4.98 %	4,643 円 1.54 ポイント	978 組合 524,199 人	9,389 円	3.44 %
1,000人~	489 組合 2,045,928 人	16,362 円	5.24 %	4,982 円 1.55 ポイント	471 組合 1,990,166 人	11,380 円	3.69 %

※2024年と2023年で集計対象組合が異なるため、「定昇相当込み賃上げ計」の昨年対比は整合しない。

2. 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ <第7回回答集計結果(7月3日公表)>

時給	2024回答(2024年7月3日公表)			昨年対比	2023回答(2023年7月5日公表)		
	集計組合数	賃上げ額	平均時給(参考値)		集計組合数	賃上げ額	平均時給(参考値)
単純平均	386 組合	53.78 円	1,148.92 円	14.04 円	377 組合	39.74 円	1,091.78 円
加重平均	885,369 人	62.70 円	1,155.02 円	9.92 円	808,108 人	52.78 円	1,095.67 円
月給	集計組合数	賃上げ額	率(参考値)	昨年対比	集計組合数	賃上げ額	率(参考値)
	集計組合員数				集計組合員数		
単純平均	146 組合	9,137 円	4.23 %	2,490 円	136 組合	6,647 円	3.09 %
加重平均	27,845 人	10,869 円	4.98 %	4,041 円	29,553 人	6,828 円	3.18 %

「男女平等参画,ジェンダー平等の推進,均等待遇,仕事と生活の調和(ワークライフバランス)」に向けた標語最優秀賞

◇認め合い 個性輝く 新時代 (印刷労連関東北部甲信越地方協議会凸版印刷労働組合・武内 駿)

※2024年度 ジェンダー平等・多様性推進に向けた「トップリダー宣言」、標語については、連合埼玉ホームページにも掲載されています。

組織化に関わる人材の裾野を広げる オルガナイザー研修会(実践編)

連合埼玉では「20万連合埼玉」の目標達成に向け、連合埼玉ならびに構成組織が主体的に取り組んでいくために、組合づくりを担う組織拡大実務者(オルガナイザー)の育成が重要と考えています。

組織化の必要性を理解し、各構成組織の役職員が組織化に必要な知識を学び、オルガナイザーを目指すきっかけづくりとなるよう、オルガナイザー研修会として、6月20日(木)に、実際の企業訪問をつうじた組織拡大の取り組みを5年ぶりにおこないました。

当日はネット21各地域事務所(川越・久喜・熊谷)と連合埼玉の4会場に集合し、高井組織委員長の開会のあいさつ後、参加者総勢10名が7班に分かれ、副事務局長やアドバイザーと一緒に訪問オルグをスタートしました。

各班とも4社程度を訪問し、経営者や人事総務担当者らと面会し、連合埼玉「労働相談ダイヤル」の状況説明や労務管理に関して情報交換をおこないました。直接の組織化につながる企業はなかったものの、今後につながる話等、再度オルグをおこなうきっかけを得ることが出来ました。訪問オルグ終了後、各会場をWeb



高井副会長



Web会議

会議でつなぎ、結果報告をおこないました。

参加者から「オルグ活動は初めてであったが、今後につながる話もできた」「担当者の名前を聞くことができ、再度オルグをおこなうきっかけを得ることができた」などの報告がありました。各班からの報告を受け、大谷事務局長より「連合埼玉組織拡大2030プランは、皆さんの協力がなくては成しえない。組織化し組合員を増やすことは大事である。このような地道な活動をつうじて次へつなげていただきたい」と講評をいただきました。

引き続き今回のオルグ活動のフォローをおこなうとともに、来年度以降も継続しておこなうことを確認し、終了しました。

女性のためのSTEP UPセミナー(初級編)を開催!

～生き活きとした職場づくりを考える～



参加者の皆さん

女性委員会では、6月26日(水)に「女性のためのSTEP UPセミナー(初級編)」をあけぼのビルにて開催し、構成組織からの参加者および幹事・事務局をあわせて、34名の方に参加していただきました。冒頭、女性委員会を代表し藤井委員長から、「セミナー参加への感謝とともに、各職場における女性の労働組合活動への参画や男女平等推進に向けた取り組みなどの女性をめぐる課題や労働法について、総合的な学習をおこなうとともに、グループワークをつうじ、実践的な発言力を身につけることで、参加者のスキルアップおよび意識向上につなげることがこのセミナーの目的で、

構成組織を超えた横のつながりをつくる必要がある」との挨拶がされました。

日本カウンセラー協会の林久美子先生を招き、「組合員から相談しやすい日常のあり方や相談を受けるための心構えについて学び、グループワーク演習を通して、生き活きとした職場づくりを考える」をテーマに、「傾聴スキル」と「共感して聴く」に対して、職場の相談事例への対処方法について話し合い、様々な意見を出し合うことで、全体発表の際に他のグループの意見から新しい気付きなども得ることができ、初級編はとても充実した内容のセミナーでした。

講師：日本カウンセラー協会
林久美子先生

グループワーク

現在予定される8月の日程表です

8月		行事等	
		連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	木		埼玉労働局「第6回地方最低賃金審議会予備日」(9:30～・埼玉労働局)
2日	金	第9回四役・執行委員会(10:00～・13:00～・ときわ会館)	
3日	土	ネット21夏休み親子自然体験教室「山の学校inときわ」(ときわ町)	
4日	日	平和行動in広島(～6日・広島市)	
5日	月		埼玉労働局「第7回地方最低賃金審議会予備日」(9:30～・埼玉労働局)
6日	火		
7日	水		川越・西入間地域協議会「第4回幹事会」(18:30～・ネット21川越)
8日	木	平和行動in長崎(～10日・長崎市)	本庄・児玉郡地域協議会「幹事会」(18:30～・はにぼんプラザ)
9日	金		秩父地域協議会「第9回幹事会」(18:00～・秩父地場産センター)
10日	土		
11日	日		
12日	月		
13日	火	↑ 夏期休暇 ↓	
14日	水		
15日	木		
16日	金		
17日	土	ネット21夏休み親子・ファミリー自然体験プランin尾瀬(～18日・群馬県尾瀬)	
18日	日		
19日	月		
20日	火		
21日	水	ジェンダー平等・多様性委員会「多様性推進セミナー」(14:00～・さいたま共済会館)	
22日	木	青年委員会「第9回幹事会」(18:00～・連合埼玉会議室)	
23日	金		県央地域協議会「幹事会」
24日	土		
25日	日		
26日	月		
27日	火		
28日	水	第5回ジェンダー平等・多様性推進委員会(15:00～・連合埼玉会議室)	
29日	木		埼玉労福協「第3回理事会」(10:00～・ときわ会館)
30日	金		①連合「第3回オルガナイザー会議」(～30日・連合会館) ②さいたま市地域協議会「第6回幹事会」(18:30～・ネット21大宮)
31日	土	災害ボランティア救援隊員研修(中級)(13:30～・あけぼのビル)	

連合関東ブロックとこくみん共済 coop 関東統括本部の共創活動により生まれた新たなたすけあいのしくみ

【広告】

2020年9月
事業スタート



**親を喪った子どもたちのゆめを
みんなで支えていく。
未来のはたらく仲間への、支援のかたちです。**

ともにつくるゆめ基金

一般社団法人ともにつくるゆめ基金〈支援プログラム〉

ともにゆめをはぐくみ、ゆめへのチャレンジをサポートします。

🌱 2020年6月1日以降に事象が発生した支援対象者に適用されます

ゆめ育成支援金

0歳～24歳まで毎年の誕生日(誕生日)に、
1万円分(ポイント)の支援を行います。

+

ゆめ応援支援金

0歳～15歳までのあいだに … 15万円(ポイント)
16歳～24歳までのあいだに … 15万円(ポイント)

ともにつくるゆめ基金の支援概要についてはホームページをご確認ください。
一般社団法人ともにつくるゆめ基金事務局 | <https://www.tomoni-yume.org>





連合
連合関東ブロック



こくみん共済〈全労済〉
関東統括本部

茨城推進本部 栃木推進本部 群馬推進本部 埼玉推進本部
千葉推進本部 東京推進本部 神奈川推進本部 山梨推進本部

2020C004



◆東京都知事選挙を終えて!

〇はじめに

7月7日に執行された東京都知事選挙では、過去最多の56人が立候補しました。自民党、公明党、国民民主党都連および都民ファーストの会が自主的に支援した現職 小池 百合子氏、広島県安芸高田市の元市長 石丸 伸二氏、立憲民主党・共産党・社民党が支援した元参議院議員 蓮舫氏の三つ巴の戦いとなったものの、現職の小池氏が前回より約74万票減らしたが、3選を果たしました。

選挙結果については、投票率が60.62%(前回比5.62ポイント増)となり、平成以降2番目に高い結果となりました。また、今回の選挙に立候補した56名中、上記以外の候補者53名が、いずれも有効投票数の10分の1に届かず、立候補に必要な供託金300万円、合計で1億5,900万円は没収、東京都に納められ、一般財源として取り扱われることとなります。

一方、同日に執行された東京都議会議員補欠選挙では、何も書かれていない白票や関係ないことが書かれた票など「無効票」が多くあり、最も多かった足立区では21,317票、次いで品川区では20,161票となっているとのことでした。

これらは、東京都知事選挙で有効票を投じる一方で、東京都議補選で無効票を投じた人が多かったとも言われています。

この他にも、政見放送の多様性だけでなく、立候補者の乱立による選挙ポスター掲示場所不足、選挙と関連性のないポスターの掲示や選挙ポスターのデザインなどが話題となり、今後の各種選挙のあり方などに課題を残す結果となりました。

〇SNSを活用した選挙戦術について

今次選挙では、多くの候補が「YouTube」や「TikTok」などのSNSを活用していましたが、候補者ごとに違いが見受けられました。

小池氏と蓮舫氏は、「X」と「Instagram」を積極的に活用していましたが、石丸氏は「YouTube」を積極的に活用していませんでした。

特に、本人だけでなく石丸氏を「応援するアカウント」が多くの動画を投稿していたり、街頭演説の様子を切り取ったり、候補者陣営が配信した動画を切り抜いたりした動画がSNSで広く拡散されていたことが、特徴点とも言われています。

無党派層の有権者が、投票先を決める上でSNSの影響は大きく、候補者自身が発信した動画よりもインフルエンサーがまとめた過去の発言などを参考にしている有権者が多くなったとも言われています。

これまでは、組織・候補者それぞれがSNS活用の必要性について理解し、活用・発信をしていたものの、有権者に対する浸透性や影響力は薄く、自己満足に終わっていたのかもしれない。

今次選挙における石丸氏陣営のSNS活用法を含めた新たなSNS対策を早期に考えることが必要と考えています。

〇選挙ポスター掲示板に対する課題について

今次選挙では、都選挙管理委員会が設置した選挙ポスター掲示板の枠の48人分を上回ったことから、届け出順が49番以降の候補者には、枠の外にクリアファイルを使用してポスターを貼るなどの対応が求められました。

また、「NHKから国民を守る党」とその関連団体が擁立した候補者は24名で、同党は寄付した方に対して、候補者用の枠に自作ポスターを貼ることを認め、数ヶ所の掲示板でポスターが貼付され、それらに対する対策が求められました。

そもそも、選挙ポスター掲示板は、候補者を周知するために設置されており、有権者は、選挙ポスター掲示板があることにより、それらを見て候補者の存在・顔を知り、政策に興味を持ち、投票のための参考にしています。

一方で、公職選挙法上、選挙ポスターの内容を特段、規制する定めはなく、加えて候補者の顔写真を載せなければならないわけでもなく、政策に関連づけたものでなければならぬわけでもありません。まさに、「NHKから国民を守る党」とその関連団体がおこなった手法については、公職選挙法の間隙をついた選挙手法だったのかもしれない。

事実上、選挙ポスター掲示板の枠が販売され、利益を得ていることは課題であり、今後、これらを含めた公職選挙法の問題点を洗い出し、対策を講じなければ、今後の各種選挙で今回のような選挙ポスター掲示騒動などが発生してしまう可能性は否定できません。

それぞれの選挙管理委員会をはじめとする関係個所の早急な対策、対応を強く望みます。

2024.7.16